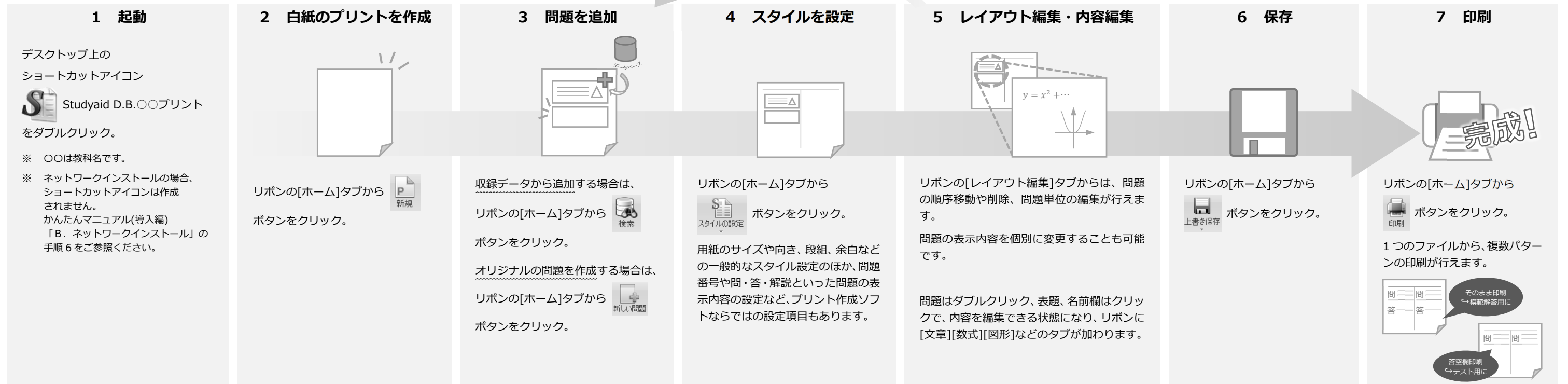


Studyaid D.B. かんたんマニュアル(操作編)

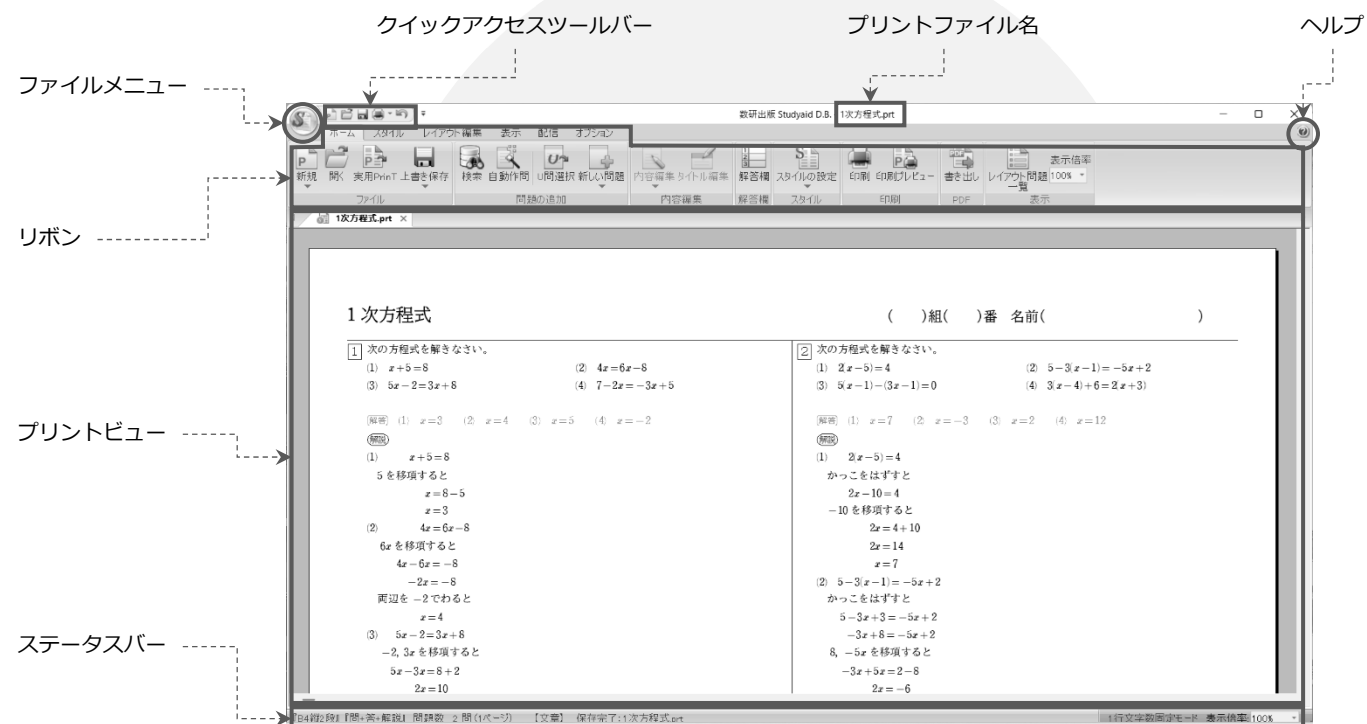
プリント作成のキホン

◆ 操作の流れ



◆ 画面の構成

メインの画面(レイアウト画面)



検索画面



◆ 編集のお約束！

プリント作成に特化したソフト Studyaid D.B.には、一般的なワープロソフトにはない独自のお約束ごとがあります。

問題のキホン

1つの問題は、「問題番号」「問題タイトル」「問」「答」「解説」の5つの要素で構成されています。

それぞれ適切なエリアにルールに則って入力しておけば、表示する要素を自由に切り替えたり、問題単位で編集できるようになります。

重要！

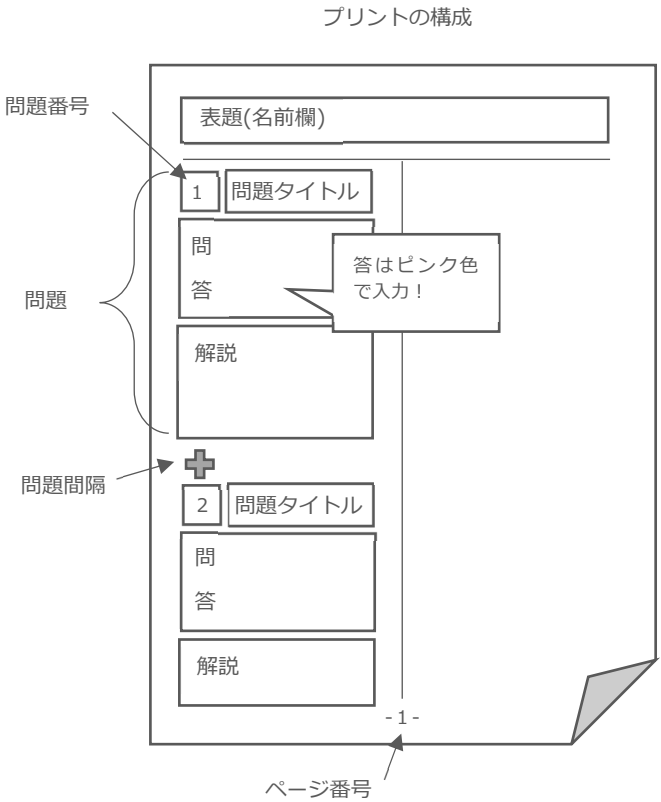
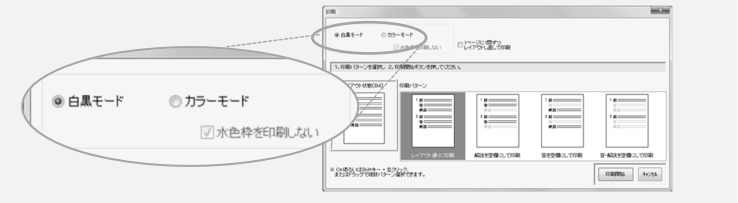
「問」と「答」は同じエリアに入力しますが、ピンク色で入力したものを「答」として扱います。

注意！

黒色、ピンク色以外で入力した内容は、【印刷】画面で「白黒モード」を選択すると印刷されません。

「カラーモード」を選択しましょう。

※プリンターの設定は白黒印刷になっていても構いません。



文章のキホン

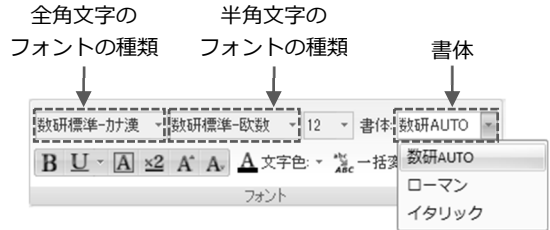
全角文字(漢字、ひらがな、カタカナなど)と、半角文字(英数字など)で、それぞれ別のフォントの種類を指定できるようになっています。

◇ 「数研標準-〇〇」に設定しておく、データベースに収録されている問題と同じフォントになります。

◇ 数式を入力する際は「数研標準-欧数」にしておくのがおすすめです。

◇ フォントの種類を設定してもフォントが変わらない、という場合は全角か半角かを確認しましょう。

書体を「数研 AUTO」にしておく、数式を入力する際に適切な書体(ローマンまたはイタリック)に自動的に切り替わります。

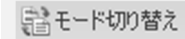


重要！

Studyaid D.B.には2種類のフォントモードがあります。

モードによって、用紙サイズや余白などのスタイルを変更した場合に、問題がどのように配置されるのかが異なります。

モードの変更は、リボンの[レイアウト編集]タブにある



モード切り替え をクリック。

1行文字数固定モード(標準)	フォントサイズ固定モード
1行に入る文字数が変わらないように、自動的にフォントサイズを変更します。 問題の体裁が崩れる心配のない、Studyaid D.B.ならではの特長的なモードです。	フォントサイズは変わらず、1行に入る文字数が変わります。 問題の体裁が崩れる可能性がありますが、一般的なワープロソフト同様の編集モードです。
手間をかけずに 手早く 印刷したい！	いつでも同じ フォントサイズ で作りたい！

◆ 実用 PrinT 例集について

Studyaid D.B. シリーズは、問題データのほかに、プリントデータを収録しています。

問題を検索・レイアウトしなくても、プリントを選択するだけで印刷してすぐに使えます。

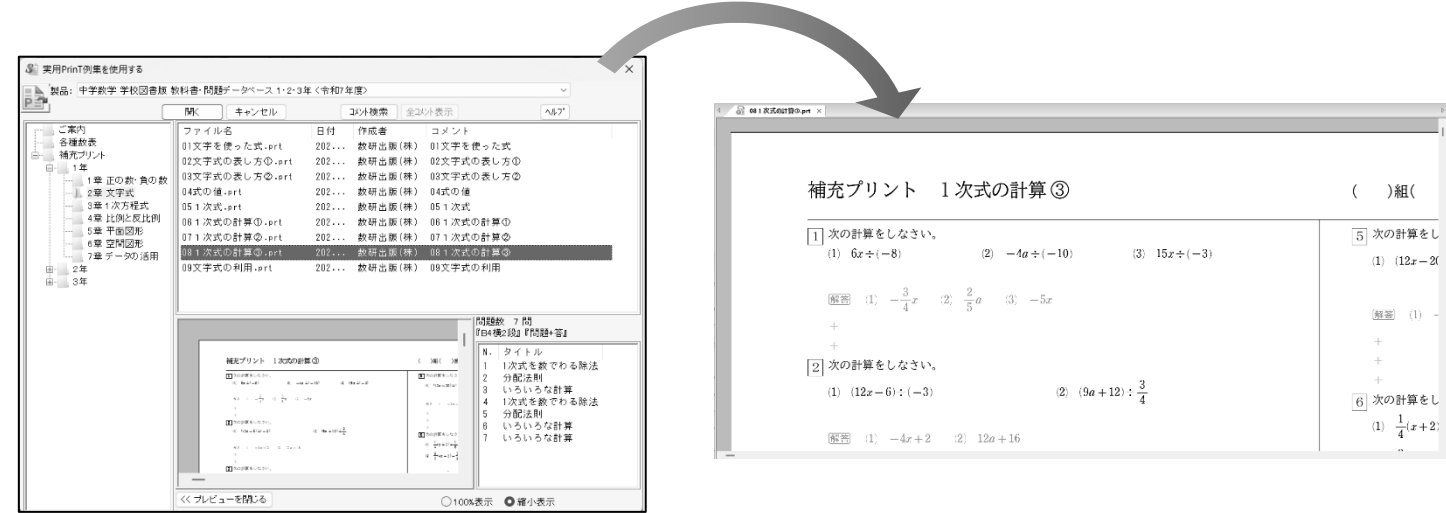
使い方

1. リボンの[ホーム]タブから  ボタンをクリックします。

2. 「製品」で「中学数学 学校図書版 教科書・問題データベース 1・2・3年 <令和7年度>」を選択します。

3. フォルダー、ファイルを選び、  ボタンをクリックします。

「中学数学 学校図書版」実用 PrinT 収録内容	
<u>ご案内</u>	ショートカットキー一覧
<u>補充プリント</u>	補充問題を項目ごとにレイアウトしたプリント



◆ 困ったときは

本マニュアルでは、Studyaid D.B.の基本的な操作についてご案内しています。

Studyaid D.B.のより詳しい操作方法については、「取扱説明書」「ヘルプ」をご参照ください。

取扱説明書

取扱説明書は、Studyaid D.B.を起動後、「ファイルメニュー」→「取扱説明書」を選択で表示できます。



ヘルプ

メインの画面右上にある  ボタンから開くことができます。作業中の画面に  ボタンがある場合は、クリックするとその画面に関係するページが表示されます。

アップデートについて

● システムアップデート

最新のシステムへの更新用ファイルを公開しております。

システムアップデートを適用することで、新しいシステムで追加された機能も使えるようになります。

また不具合の修正も行っていますので、システムアップデートを適用することをおすすめします。

● データアップデート

商品・シリーズごとに収録データの修正等を公開しております。

アップデートについては学校図書ホームページよりご確認ください。 <https://gakuto.co.jp/suken-studyaidd/>